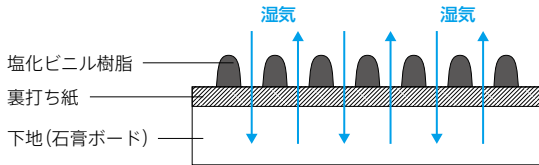


## 通気性（透湿性）

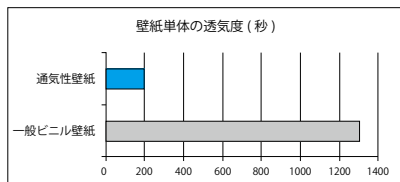
●空気や湿気を通して調湿効果を発揮する壁紙です。

### ■通気性（透湿性）壁紙の構造（イメージ図）

空気や湿気を通すため、石膏ボードへ施工することで湿気を吸収・放出します。特に、調湿石膏ボードに施工することで、より大きな効果が期待できます。

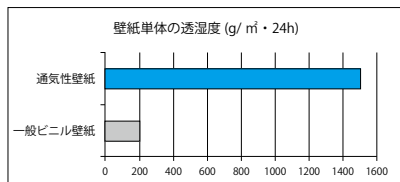


### ■通気性（透気度）試験結果



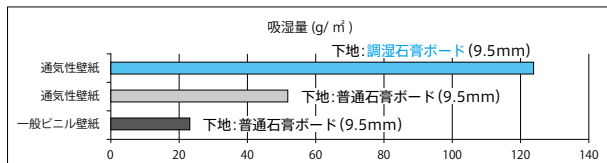
一定量の空気が壁紙を通り抜けた時間を測定したもので、  
 数値が小さいほど通気性が高いことを示します。  
 《透気度試験方法：JIS P 8117》

### ■透湿性（透湿度）試験結果



24時間に壁紙を通り抜けた水蒸気量を測定したもので、  
 数値が大きいくほど透湿性が高いことを示します。  
 《透湿度試験方法：JIS Z 0208 B法》

### ■吸湿量（壁紙+下地）試験結果



通気性壁紙を調湿石膏ボード下地に施工すると、調湿効果が  
 飛躍的にアップします。  
 〈試験方法：室温25℃で、湿度50%から90%に加湿し24時間  
 の増加質量を測定〉

### ■吸放湿性を活かす組み合わせ

下表は、壁・天井面に使用する壁紙と下地の組み合わせによる吸放湿量（想定値）を表したものです。開口部を差し引いた6畳間の施工面積を想定したもので、壁面を24m<sup>2</sup>、天井面を9m<sup>2</sup>とし、それぞれの最大吸放湿量から算出しました。壁紙の種類だけでなく、下地との組み合わせによっても大きく異なりますので、ご参考してください。

#### ●壁紙と下地の組み合わせによる吸放湿量

壁面（24m <sup>2</sup> ）			天井面（9m <sup>2</sup> ）			部屋の合計 吸放湿量
壁紙	下地	吸放湿量	壁紙	下地	吸放湿量	
通気性	調湿	2,976	通気性	調湿	1,116	4,092
通気性	普通	1,248	通気性	普通	468	1,716
ビニル	普通	552	ビニル	普通	207	759

通気性：通気性壁紙  
 ビニル：一般ビニル壁紙  
 調湿：調湿石膏ボード（9.5mm厚）  
 普通：普通石膏ボード（9.5mm厚）  
 （吸放湿量：g）



#### ●部屋の合計吸放湿量を200ccのコップに換算

部屋の合計吸放湿量（g）	200ccのコップに換算（杯）
4,092	20.5
1,716	8.6
759	3.8

※上記は、壁紙と施工下地によって部屋全体の調湿効果が大きく異なることを示すために、m<sup>2</sup>当たりの吸湿量から算出した想定値であり、保証値ではありません。

### ■使用上のご注意

- 吸放湿性による調湿機能は、除湿機とは異なり、あくまでも補助的な役割にすぎません。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇を抑えるようご配慮ください。
- また、効果は環境や気候などの条件によっても変わります。
- 過度に湿気が多く、湿気が逃げない場所に吸湿性の高い壁紙を使用すると、水分を吸い込んだままいつまでも湿った状態となつてかびを発生させる場合もありますので、ご注意ください。
- 結露を抑えるには、壁紙だけでなく、建物の構造や設備、換気や住まい方など複合的な対策が必要です。